



子どもたちとミニゲームを行う枝村選手

夢を持つことの大切さを学ぶ

■枝村匠馬選手との交流会

市出身のJリーガー枝村匠馬選手と市内小学生との交流会が1月11日、静波体育館と静波グラウンドで行われ、約190人が参加しました。

市子ども会連絡協議会（河村紀世乃会長）がスポーツの楽しさを体験してもらおうと実施。低学年や女子などを対象とした午前の部では、鬼ごっこなどの後、枝村選手とのドリブル対決やミニゲームなどが行われました。枝村選手は、「サッカーが好きでプロになった。サッカーは僕の夢」と、夢を持つことの大切さを話しました。

今年1年の無病息災を祈る

■どんど焼き／牧之原保育園

牧之原保育園は、1月8日、園庭でどんど焼きを行い、園児55人が参加しました。

これは、年末に園児らが、地域のお年寄りと共に作成した正月飾りを持ち寄って燃やす同園の恒例行事。園児らは順番にお飾りを火の中に入れて燃やし、その火に当たって、今年1年の無病息災を祈りました。

また、園児らは、燃やした火で焼いた餅をノリで巻いて、「熱くておいしい」「お餅大好き」とうれしそうに頬張っていました。



正月飾りを燃やしどんど焼きをする園児ら

子どもの健やかな成長を願う

■つるし飾り展

つるし飾り展が5月中旬まで、片浜の国指定重要文化財「大鐘家」で開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句の雛段の両側にはぎれで作ったぬいぐるみをつるす風習で、市内や近隣市の愛好家が製作した「桃飾り」とも呼ばれる110個の飾りには、それぞれいわれがあります。約2mの高さからつるされたツル、カメなどの動物や、座布団、草履などの縁起物約100点が展示され、訪れた人たちは、色鮮やかな作品をじっくりと眺めていました。



色鮮やかなつるし飾りを見て楽しむ家族



拝見盆に盛られた茶葉の銘柄を識別する児童

「茶ンピオン」を目指し小学生が闘茶

■第5回 TEA HERO選手権

「第5回TEA HERO選手権」決勝大会が1月18日、市史料館で開かれ、市内10校の予選を勝ち抜いた小学5年生約80人が参加しました。

市の基幹産業であるお茶をゲーム感覚で理解してもらおうと、JAハイナン青壮年部が企画。児童は深蒸し煎茶、普通煎茶、望、つゆひかり、釜炒り茶の5種類を、形や香り、味などを確かめて、銘柄を識別。拝見盆の茶葉をじっくり見るなど真剣な表情で利き茶を行いました。個人は、坂本夕風さん（片浜小）、団体は片浜小が優勝しました。



搭乗者200万人を代表して記念の花束を受け取る和田夫妻

地方を結ぶ懸け橋として

■FDA搭乗者200万人達成記念式典

株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）の搭乗者数が1月7日、200万人を達成し富士山静岡空港で記念式典が行われました。

式典では、200万人を達成した鹿児島便の搭乗者を代表して、掛川市の会社役員、和田英孝さん、よしのさん夫妻に花束や記念品などを贈呈。和田さんは「びっくりした。今年が良い年になりそう」と話してくれました。FDAの内山拓郎副社長は、「地方の懸け橋になるという理念のもと、地域の皆さんのおかげでここまでできた。今後もサービス向上に努めていきたい」と話しました。FDAは、富士山静岡空港から札幌、福岡、鹿児島を結び、3月には8機目の機体が導入されます。

今年1年の発展を願い交流

■平成26年牧之原市新春初顔合わせ会

新春初顔合わせ会が1月6日、マイハートうおともで開かれ、市内の企業や団体の関係者ら約250人が出席し、今年1年の発展を願いました。

会に先立ち、地方自治や教育文化など市に対して功績のあった13個人と1団体を表彰。西原市長は、「県や県選出の国会議員などと連携して、空港の新幹線新駅設置に向けて取り組んでいく」と年頭のあいさつ。出席者は、静岡牧之原茶で乾杯した後、さまざまな種類のお茶と市内菓子店自慢の菓子を味わい、互いに今年の抱負を語り合いました。



水野隆地区長会長の音頭により静岡牧之原茶で乾杯する出席者



一斉放水する小型ポンプ操法の選手

市民に愛される消防団員に

■平成26年牧之原市消防団出初式

平成26年牧之原市消防団出初式が1月5日、相良中学校で行われ、団員415人が参加しました。

式では、勤続5年以上の団員や功績のあった団員が表彰され、日ごろの功労がたたえられました。鈴木雅志団長が、「常に自身の安全を確立し、消防防災体制の確立に全力を注ぎ、住民の信頼と期待に応えるべく、規律正しく市民に愛される団員になってもらいたい」と訓示を述べました。

式後、グラウンドで操法が行われ、団員らの日ごろの訓練の成果が披露されました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp